

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 7月号

令和4年6月30日（木）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦

子どもの成長のすごさに ただただ感動！！

観測史上最速で梅雨が明け、本格的な夏を迎えましたが、保護者や地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、6月4日（土）に行った運動会は、新型コロナウイルスの感染防止対策として、観覧人数を制限させていただき、午前中日程で実施いたしましたが、子どもたちは、学年の仲間と心をつなげて、圧巻の演技を見せてくれました。

練習期間は、3週間の長丁場でした。どの学年も、学年全員で創り上げるダンスに力を注いでいました。しかし、練習がスタートした頃は、思うように踊れず、思い悩む子どもたちも少なくありませんでした。時には、集中力が途切れて、教職員が注意する場面も見受けられました。

しかし、そうした状況であっても、学年の教職員が、子どもたちを信じて、深い愛情と情熱をもって指導していく中で、子どもたちに変化が現れてきました。困っている友だちを親身になって励ます子どもや、休み時間や家でも自主的に練習する子どもが増えていったのです。そして、「もっと重心を低くしよう」、「指先までしっかり伸ばそう」、「縦横の列をきれいにそろえよう」など、細かい部分までこだわりをもって練習に取り組むようになり、より完成度の高いダンスを創り上げたいという意欲が、子どもたちに芽生えていきました。当日は、どの学年の子どもたちも、一人一人が本当に輝いていて、私たち教職員もただただ感動するばかりでした。昨年度は、担任が抱きかかえながら踊っていた子が、満面の笑顔で最後まで楽しそうに踊っている姿を見たときは、涙が出る思いでした。1年間の子どもの成長のすごさを改めて実感いたしました。

今年の運動会のスローガンは、『全身全霊茅小魂！ 皆でつくる運動会 思い出のバトンを次世代につなげ！』でした。1年生から6年生までの全校児童795名の熱い思いを結集して、ご観覧いただいた方々に素敵な感動を届けることができました。茅ヶ崎小学校創立130周年の節目の年に、新たな歴史の1ページを刻むことができました。



6年生の「ソーラン節」